

スチューデント・アンバサダー活動報告⑤

★ スチューデント・アンバサダープログラムとは ★

キャンパスの国際化を担うグローバル・リーダーの育成を目指すプログラムで、参加者(日本人学生・留学生)はチームでSDGs(自分たちの思いを込めたSDGs)をテーマに、世界に目を向けられる、国際的な視野を持つきっかけになるような活動を企画実施してもらいます。当プログラムは全編英語のイベントとなっています。



【第5回】weekly Meeting チーム3 2020年12月10日(木) 14:00-17:00

今回はグループ③の「Dortmund」からの報告です。イベントのテーマ、内容、役割分担について話し合いをしたとのこと。

私たちグループ③「Dortmund」は、下記について互いに考えを補い合いながら丁寧に話し合いを進めました!

- イベントテーマ:マイノリティ(外国人留学生) 「自分がマイノリティになった時、あなたはどうする?」
- チームの方針
 - ①参加者主体 ②参加者が当事者意識を持ち、視野を広げるきっかけ作り
- イベントの具体的な内容
 - 具体的な内容を考える上で難しかった点は、チームの方針(上記①②)に沿ったプログラムをデザインすることです。いかに参加者が自分事としてこの問題を考え、各自の気持ちや解決策を積極的に発表し共有してもらえるかをこれからも追求していきます! 当日どんな人がどのくらいの人参加するのかをイメージすることも重要だと気づきました!
- 当日の役割分担、動き
 - 司会・進行:小森史晴 / イベント運営(zoom操作、タイムキープ、グループワークのサポート):鶴殿康平、園田信濃
 - 以上の役割分担のもと、当日は3人同じ部屋に集まり、互いにサポートし合いながら協力してイベントを運営します!
 - 次回のミーティングでは、当日までに準備することの整理と、その役割分担をする予定です!

Group 3, "Dortmund", carefully discussed the specific details as below.

- Theme: Minorities (International students in Shizuoka/Japan) "what will you do when you become a minority?"
- Team Policies:
 - ①Main actors are participants.
 - ②Creating an opportunity for participants to take ownership/responsibility of the problem and broaden their horizons.
- The specific content of our event
 - In terms of thinking about that, it is difficult to design our program which is related to the team policies. Also, we will try to pursue that the participants think and take the initiative in solving these problems and they will share their feeling and solution actively. Therefore, we did notice that the importance to imagine how and how many people would join on the day.
- Sharing roles and our actions on the event day
 - MC: Komori / Management(operation of ZOOM, keeping our time, support for groupwork) : Udono, Sonoda
 - Above this, we will gather the same place, also we will manage this event to cooperate and support together!
 - In the next meeting, we are going to prepare and assign roles more!



グループ1のテーマは「SDGsの17のゴール」の③・⑩・⑪・⑬に関連しています!